

木浦



風の子 元気な子

糸魚川市立木浦小学校

学校だより No.4

令和元年6月7日発行



地域一体となった「木浦わくわく運動会」

児童優勝：白組、応援賞：赤組

5月25日(土)

地区優勝：白組(浜木浦、鬼舞)、綱引き：鬼伏

晴れ渡った青空の下、「木浦わくわく運動会」が木浦公民館や木浦保育園と共に開催されました。児童数の減少をむしろ強みに変え、まさに地域一体となった地域総出の大会となりました。

赤組も白組も8人ずつですが、応援団長を中心に、声だけ聞いたら8人とは思えないくらい大きな声で、一生懸命に応援していました。少ない人数を元気でカバーした子どもたちに大きな拍手が送られていました。応援賞を獲得した赤組団長は、最後には声が出なくなるほど。本気になって応援していた子どもたちに感動しました。本気が子どもを成長させます。

競技はまさに全力疾走。得点は赤白が抜きつ抜かれつで、最後の全校リレーに競り勝った白組が逆転優勝でした。上右の写真は、「じゃんけん玉入れ」のじゃんけんで負けた悔しさを全身で表現していた白組団長です。私は「負けて悔しい思いをする体験」は、とても大切だと思っています。勝負は、勝つことを期待して挑むが、一方が負けるものです。そこで腐らず、悔しさを次へのエネルギーに転換できれば、強い心も育ちます。

運動会を通して、子どもたちは大きく成長しました。それを支え、応援してくださった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

地域・保育園・PTAの皆さんも大活躍

皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



地区種目「輪くぐりレース」(上左)
PTAによるバザー(下左)

保育園ダンス「ころころ たまたま」(上右)
みんなで「木浦小唄」(下右)

見守りと挨拶など、御協力をお願いします

先月、川崎市で小学生を含む19人が刃物で殺傷されるという事件、大津市では信号待ちの保育園児に衝突した車が突っ込み2人亡くなるという事故と、とても痛ましい事件事故が続きました。

不審者事案を防ぐには、地域の皆様の見守りや、地域で挨拶が活発に交わされるなど、不審者に行動させない地域づくり・雰囲気づくりが有効です。当校でも、登下校時に保護者や地域の方々による防犯パトロール員さんに引率をしていただいておりますが、すべての子どもが自宅に帰るまでを見守ることができません。地域の方々の目がある所には不審者は警戒して近付きません。子どもたちが登下校でお近くを通る時間に、畑仕事や犬の散歩などの「ながら見守り」をお願いします。そして、近所の子どもを見かけたら、「お帰り」「こんにちは」と、お声掛けいただければ、ありがたいです。



マリンドリーム能生へ校外学習

6月5日、5・6年生は、再来週の東京修学旅行で能生をPRするための事前学習をしました。お店の方やお客さんにインタビューしたことをもとに、能生の魅力を売り込めます。うちわも50本いただいたので、一緒に配布します。どんな旅行になるか楽しみです。